

化

化は、人と匕との会意形声字です。匕には二つの形があります。一つは匕(匕)であり、一つは匕(カ)です。

化の匕は匕で、人の倒れた形を表わしたもので、“死ぬ”意味の部首です。だから、化は、人が死ぬという意味の字です。死は大変化ですから、“かわる”意味に使われ、死んで“ばける”という意味にも使われます。

化合。消化等。化は変よりも大きい“かわり方”であることに注意して下さい。音はカです。

花は、変化の意味の化と艸との会意形声字です。言わば“草のお化け”です。音はカ。

靴は、革(なめし皮)と化との会意形声字です。“革が化けて”くつになったというわけです。音はカです。

訛は、“人を化かす言葉”という意味の会意形声字で、“人をだます”のが本義です。今は“正しくない言葉”ということから“なまり”という意味に多く使われています。音はカ。

𠂔は、囲んで捉える意味の𠂔と化との会意形声字です。“だまして捉える”のに使う“おとり”のことです。生きていまする鳥を使って野鳥を

油断させ、だまして捉えますが、その時に使う鳥を“おとり”と言うのです。音はカ。

貨は、お金を意味する貝と化との会意形声字です。“お金に化けるもの”という意味で“値うちのある品物”というのが本義です。財貨。貨物。転じて“お金そのもの”の意味にも使われます。金貨。硬貨。貨幣。音はカ。